

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

社団法人  
**長崎青年協会**



ながさきジュニア世界見聞録出発式（長崎空港にて）

平成12年8月23日

●スローガン●  
**新世紀に向けて  
-2000年に足跡を-**

発行▶(社)長崎青年協会／長崎市五島町2-24 長崎印刷ビル3階 会長／地島 秀  
編集▶広報委員会 委員長／松島健二

2000  
9



## 会長挨拶

7月夫婦同伴例会では奥様方に多数参加頂きましてありがとうございました。初めて参加された奥様は協会活動を多少理解して頂けたと思います。企画担当した例会委員会の皆さん大変お疲れ様でした。又国際ながさきみなとまつりも無事終了致しまして、内部ではペーロン大会に参加しました。当日は土曜日にもかかわらず応援も含めて多数参加頂き協会代表として一生懸命会員一丸となり懇親会を開催する大変有意義であったと思います。仕事の都合で参加出来なかった皆様も応援ありがとうございました。又他団体との協力によって行われたダンスフェスタ、大花火大会の警備では地域社会委員会を中心に企画の立ち上げから当日まで長期間大変お疲れ様でした。大花火大会の警備では田川副会長をはじめ広瀬・峰両室長を中心に全会員に動員を図り、協会らしく警備・清掃が出来たと思います。夏の暑い最中本当に疲れ様でした。本日は全体研修です。21世紀の協会を考える討論会として若い会員の皆様も先輩と楽しく共に語り合ってください。明日は日蘭交流400周年記念の受け入れ事業でオランダ・サッカー少年団とオランダに行く長崎の中・高生との交流を図ります。又留学生と市民の集いも絡ませての事業でもありますので大変ではございますが、皆様宜しくお願い致します。

## 全体研修&8月ミニ例会



夏真っ盛りの8月5日（土）ホテル清風にて平成12年度全体研修＆ミニ例会が行われた。

今年は「朝まで徹底討論懇親会！」と銘打って、テーマは「貴方と青年協会の未来を考える」で会員同士本音で話せる場として班別（5班）に別れて討論が行われた。まずは第1部として8月のミニ例会を行い、その後第2部で今回の本題である討論会に入った。研修開発委員会の濱崎君の総合司会によって会は進められ、地島会長・伊藤直前会長・和田君の3人が審査員に選ばれ、それぞれ各班の独自の意見を任意に選ばれた人がまとめて発表し合った。共通した意見としては異業種の人脈が広がり意見相互の中でお互いの価値を高めながら協会活動も発展すると言う事だった。有意義な意見が活発に飛び交った事はこれからの青年協会に大いに役立つ貴重な討論会であった。その後の懇親会では皆大いに盛り上り深夜まで続いた。研修開発委員会の皆様、準備から進行を含めて最後まで大変お疲れ様でした。

ホテル清風での討論会

君の3人が審査員に選ばれ、それぞれ各班の独自の意見を任意に選ばれた人がまとめて発表し合った。共通した意見としては異業種の人脈が広がり意見相互の中でお互いの価値を高めながら協会活動も発展すると言う事だった。有意義な意見が活発に飛び交った事はこれからの青年協会に大いに役立つ貴重な討論会であった。その後の懇親会では皆大いに盛り上り深夜まで続いた。研修開発委員会の皆様、準備から進行を含めて最後まで大変お疲れ様でした。

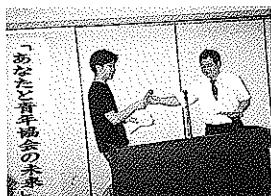
### 三瀬委員長の自己採点

8月5(土) 6日(日) ホテル清風において出席者数37名で全体研修を行いました。5日の出足が鈍くどうなるものかと思いましたが研修時には何とかテーブルも埋まり研修が始まりました。今回

は「青年協会の未来を考える」という討論(会)を行い各テーブル白熱した討論が繰り広げられ発表の時間が足りない所もありました。只、今回のテーマはあまりにも広すぎたと言う感も否めませんでした。その後懇親会では美味しい料理に舌鼓をうちながらお酒を飲み深夜まで語り合って頂けたと思っております。翌日の朝食会においては研修の感想を話して頂こうと思っておりましたが、他の宿泊客もいたので出来なかった事を紙面をもちましてお詫びいたします。皆様のおかげで良い研修が出来たと思います。本当にありがとうございました。



審査員の会長・直前会長・元会長



司会は濱崎君



懇親会の様子



担当委員会のあいさつ



自己  
採点

50点

## 「留学生と市民の集い」&「日蘭交流事業」ペーロン体験



好天に恵まれた8月6日（そう、この日は全体研修の翌日）市内牧島の海岸にて“留学生と市民の集い”が開催された。また今回はながさきジュニア世界見聞録でオランダに出発する子供達と、オランダより来日したサッカー少年団の子供達も参加し、共にペーロン体験を行った。牧島の方の熱心な指導のもとで皆心を一つにし懇親会ではバイキング形式をとって（もちろんノンアルコール）テントの下では終始笑い声が絶えなかった。オランダの子供達との交流も充分に行われ大変有意義な集いとなった。担当の特別事業委員会の皆様、参加して頂いたス

タッフの皆様最後の後片付けまで大変お疲れ様でした。

留学生 45名

市 民 13名

ながさきジュニア世界見聞録 28名

オランダサッカー少年団 20名

スタッフ 50名



「みなさんコンニチワー」



ペーロン指導中



これでよかと？



なかなか決まって～



あー楽しかった



これで交流もバッチリ

## 平和のともしび



世界に平和を

8月7日・8日・9日の三日間、平和公園を中心として「平和の灯（ピース・キャンドル）」が行われた。これまで、8月8日の8時に市内のあかりを一斉に点灯することなどを行っていたが、今年は手作りのピース・キャンドルを、市内の小・中学生が願いを込めて5000個も作成し、平和の泉周辺にて火が灯された。「平和の灯」では、詩の朗読や映画上映、またコーラスなどの多彩なプログラムをとおして平和について訴えているが、子供たちが自分たちでピース・キャンドルを作ることで、平和について考える機会を与えることが、より大切なではないかと感じた。（伊藤）

8月9日、平和公園において平和の灯に参

加した。今年は平和への祈りが込められた5000個のキャンドルが並べられ、午後7時よりキャンドルに火がともされて、夕暮れの中、幻想的な雰囲気がかもし出された。午後8時過ぎに雷鳴とともに大粒の雨が降ってきて、後片付けは必ずぶ濡れとなつた。昼間の炎天下の中、並びに大雨の中の作業、お疲れ様でした。

(荒木)



お疲れさまでした

# 「国際ながさきみなとまつり」なんでん！ ガんでん!! ダンスフェスタ2000開催



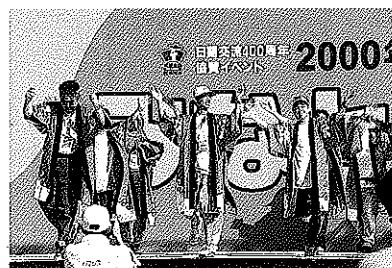
汗がまぶしい山室委員長

員会の中で運営に携わり、7月29日の大花火大会では警備の担当を行いました。この中で地域社会委員会は青年3団体の1団体として“なんでんかんでんダンスフェスタ2000”的実行委員会のメンバーとなり、今年1月から会議などに参加し、長い道のりを経てやっと28、29日の本番を迎える事が出来ました。当日は朝からお日様がギンギンに顔を覗かせており暑い青年協会の夏祭りが始まりました。ダンスフェスタに参加される出場者が目を輝かせて十八銀行記念体育館に続々と集まって、受付を済ませた出場者は日蘭広場へと移動し、特設ステージの上でダンスパトルが繰り広げられました。両日共、台風接近の余波の為多少の風があったものの雨が降る事も無く予定通りスケジュールを消化してきました。28日はダンスフェスタの出場者のお世話とステージ裏で出番待ちの整列を担当し、マイベースなシ

国際ながさきみなとまつりが長崎開港記念会の主催で商工会議所（青年部）、青年会議所、青年協会、ネットワーク市民の会が中心となり7月22日より7月29日まで開催されました。今年は日蘭交流400周年に当たる為、ながさきみなとまつりの冠に“国際”が付きました。当初は7月30日までの開催予定でしたが、台風接近の為30日のイベントは全て中止になりました。国際ながさきみなとまつりの中で青年協会は7月22日のペーロンに参加し、7月28、29日の“なんでんかんでんダンスフェスタ2000”的実行委



受付で頑張る坂上君



みなさんも覚えてネ



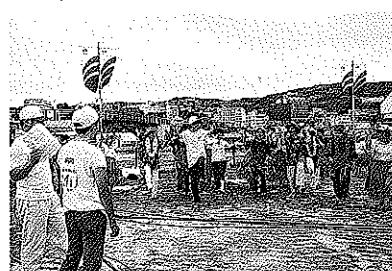
笑顔がステキ♡



「えー、会場はあちらです」



熱心に予想する(?)二人



シニアと共に踊る酒井君



オレも踊りたいなあ



みんなガンバッテねえー



された皆さん、また花火大会の警備、清掃に汗を流した会員の皆さん、本当にありがとうございます。

### みなとまつりを終えて



今年は3団体（長崎商工会議所青年部、長崎青年会議所、長崎青年協会）が持ち込みイベントなしでみなとまつりに臨んだ。主にコアイベントである「なんでんかんでんダンスフェスタ2000」の準備・運営、ネットワーク市民の会主体による飛帆クルーズ、そして大花火大会の警備と会場の清掃を行った。我々青年協会としてはみなとまつりと言う事で浸水性をテーマとした海上ターザンコンテストが開催されなかったのは残念だった。みなとまつりも回を重ねることで「長崎の夏」と言えば「ながさきみなとまつり」と言う答えが返ってくるほど多くの市民の方に喜ばれるイベントとなってきていると思う。そして今年台風の影響で打ち上げが危ぶまれた大花火大会・・・真夏の夜空に大輪の光の輪が観衆を魅了した。何度も湧き上がる歓声と拍手、家族で芝生に腰を下ろして楽しんでいるそんな場面を演出できた事は素晴らしい事だと思う。「安全で楽しい祭りの場提供」が我々の目的であり地域社会の盛り上がりの一端を担う上で、汗を流したボランティアは自信と誇りをもってこれからも臨んで行きたい。

ニアの人達と、すぐにどこかへ行ってしまうジュニア達と格闘してました。29日は十八銀行記念体育馆での受付担当だったので比較的楽でした。この日の青年協会のメインイベントはこの受付ではなく、麓君を筆頭に吉田浩文君、浅田君、松尾幸洋君のダンスユニット“ターザンVI”の出場でした。毎年みなとまつりで青年協会は海上ターザンを企画運営していたのですが、今年はやむなく実施出来なかつた為、ダンスユニットを結成しチーム名をターザンVIにしました。賞は取れなかつたものなかなか良い出来でした。ダンスフェスタのスタッフとして参加



ターザンVI 登場!!



俺たちレスキュー隊



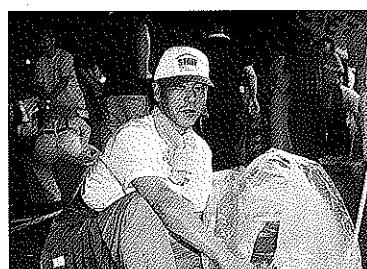
ペーロンありがとう



たまや～



ラストは総踊り



“疲れた～”の宮崎君



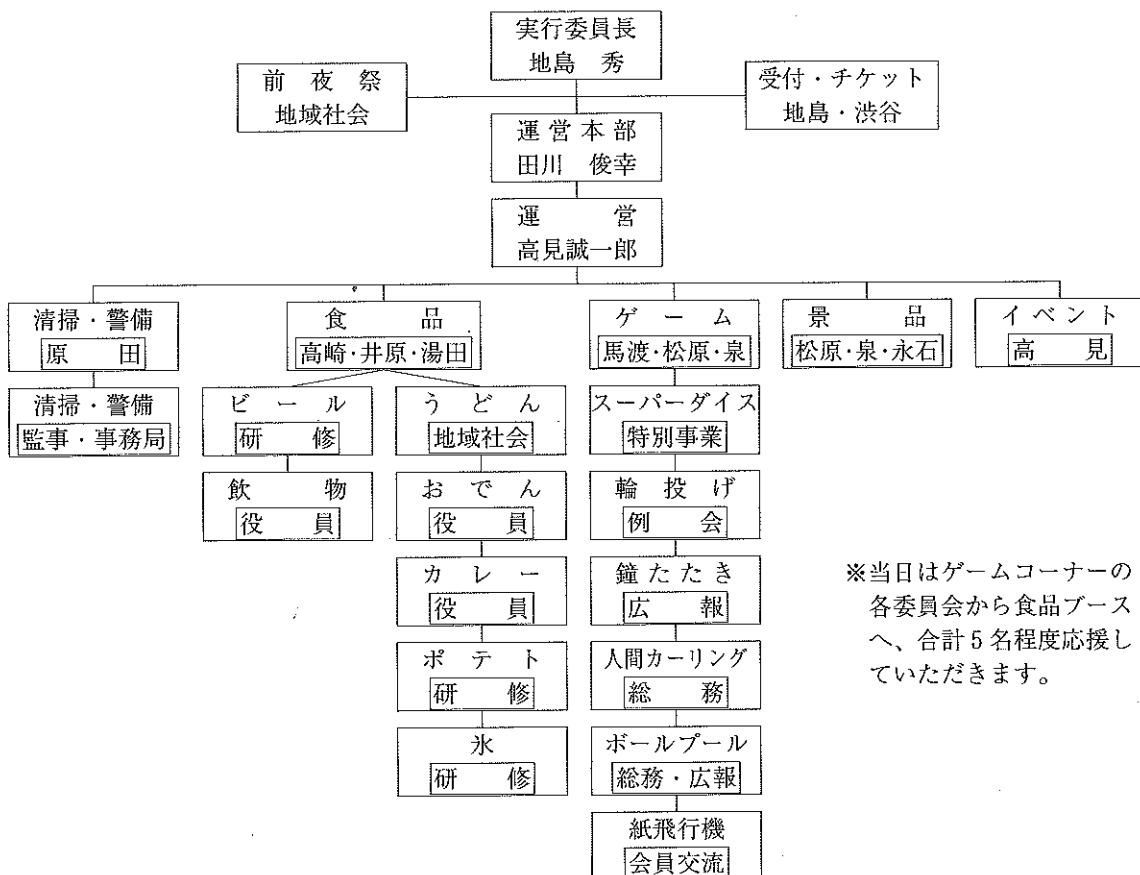
みんなでおそうじ



山室委員長の一本締!!

—田川清浩—

## 平成12年度 おくんち広場組織図



今年のおくんち広場においては、子供達の記憶に残る「珍しいもの・初めて見るもの」そして「いつもきれいな公園」を目指して頑張ります。ここに組織図を掲載しますので、会員の皆様宜しくお願いします。

地域事業委員長 高見 誠一郎

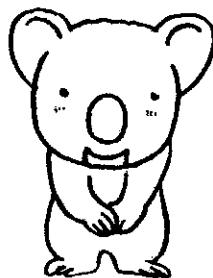


### VOL 6 (コアラ編)

究極の快楽主義的ロマンティスト  
しつぽを出さない策略家

- ほーっとする時間がないと頑張れない
  - 昼間はおとなしくて夜になると元気いっぱい
  - 将来をしっかり見据えた計画を立てる
  - 楽しいかどうかがすべての判断基準
  - 頭が良く別の事を考えながらでも話せる
  - 負ける勝負はしない慎重派
  - 夢見るロマンティストの反面、現実的
  - 異性の好みは幅広く交際も盛ん
- サービス精神旺盛
  - まず計算してから行動
  - 爭いが嫌い
  - 嫌いな人とでも割り切って付き合える
  - 言い訳の上手さは天才的
  - だまされた時の恨みは強い

<コアラな人たち> 松尾 浩・梁瀬億則・峰 章二・桑岡隆太・  
山崎伸一・野田真幸・山室敏紀・永石直樹・  
廣川誠一・福田秀一・河井耕治・高崎 聰・  
松原敏夫



お詫び  
今回のD E E P な人々は都合により休ませて頂きます。



## 温故知新～健康ことわざ事典～

### (野菜) 2

#### ・笑って長生き “土手かぼちゃ”

ゆるやかな傾斜地で作られた「土手かぼちゃ」は、太陽エネルギーをたくさん吸収して、ボクボクとして厚みがあって、まっ黄色。これを食すると、ビタミンAの働きにより、粘膜を強化して、風邪に対する抵抗力を強めたり、肌荒れや目の疲れを軽くしてくれる。

#### ・ゴボウは「快便」に通ず

ゴボウは腸の中の善玉菌であるビフィズス菌を増やす効果の高いオリゴ糖を多量に含んでおり、整腸作用の強い根菜である。

#### ・枝豆は脳機能再生と夏バテの妙薬

枝豆は完熟していない青い大豆を枝つきのまま刈り取ったもので、「野菜」である。「ビールに枝豆」は相性がよいというだけでなく、悪酔いの予防効果、スタミナの回復に欠かせないビタミンB1が含まれ、記憶力や創造力を高める。

## ●同好会だより●

### ○野球同好会

8月5日（土）長崎市営柿泊球場において市民早朝野球の4回戦が行われた。対らくだ戦は点の取り合いとなり白熱しながらも緊迫したゲーム展開で、最後の最後まで目が離せない状態であった。最終回協会リードで最後の打者をファーストフライに打ち取り、6対5でゲームセット！念願のBクラス入り決定と共にベスト8進出も果たし、いよいよビッグNも近づいたぞ！

Hello!! Baby!

### お誕生おめでとうございます

鳥井幸義君（広報委員会）

長男 文汰くんです。

平成12年8月13日生



父のコメント・父を越える  
ような子供になってほしい!!

## WHO AM I ?

### Q1

2才とは思えない僕の立派（？）な姿です。暑い日は良く物干し台で水浴びしていました。息子がこの写真を見て「これはボクだ！」と言い張っています。

難易度50



### Q2

これは4・5才の頃の私です。暑苦しい顔とデカイ耳!?は今でも変わりません。この頃から、人をよく困らせたものです（笑）。

難易度40



## ～ちょっと独り言～

最近少年犯罪が続発している。ゴールデンウィークのバスジャックに始まり、大分の一家刺殺事件が記憶に新しい。マスコミは少年達の犯罪を報道とともに、年々凶悪化しているのではと危惧している。しかしここで、考えてみたい。先日朝日新聞の記事によると、ここ数年の少年犯罪の記録では犯罪数そのものは減ってきてているのである。つまり報道だけを鵜呑みにするのは眞実を見誤る危険性があるという事である。被害者ばかりを興味本位で取り上げ実名を出し、加害者の人権だけが守られるのは納得がいかない。家族を奪われた遺族が、殺してやりたいと思うのは当然であろう。殺人を犯したのに、現在の法で裁けないのであれば、せめてベンの力で社会的制裁をと思うのは行き過ぎであろうか。

（シャカリキ）